



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 林兼産業株式会社 上場取引所 東
コード番号 2286 URL <https://www.hayashikane.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 中部 哲二
問合せ先責任者（役職名） 経営管理本部総務部長（氏名） 熊澤 英俊 (TEL) 083-266-0210
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	22,369	△9.4	787	298.2	969	164.2	735	204.8
2025年3月期中間期	24,677	3.9	197	△73.5	367	△57.0	241	△61.4

（注）包括利益 2026年3月期中間期 887百万円（410.1％） 2025年3月期中間期 173百万円（△82.8％）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	87.49	—
2025年3月期中間期	28.02	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	29,694	12,264	41.3
2025年3月期	27,632	11,791	42.7

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 12,264百万円 2025年3月期 11,791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	25.00	25.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注2）2025年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 10円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	48,000	△2.6	950	△11.7	1,150	△15.7	800	△24.2	97.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	8,910,000株	2025年3月期	8,910,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	743,706株	2025年3月期	461,596株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	8,411,117株	2025年3月期中間期	8,616,015株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当中間期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当中間期の財政状態の概況	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 中間連結貸借対照表	P. 4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	P. 6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果などにより、景気は緩やかに持ち直しております。しかしながら、食品業界におきましては、円安による原材料価格やエネルギーコストの高止まりなど、依然として先行き不透明な厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループでは昨年4月にHayashikaneだからできる『生きる力』のジャンルトップを目指し「中期経営計画Challenge2026」（2025年3月期～2026年3月期）を策定いたしました。これまでの中期経営計画の成果を基に「新たな構造改革」と称して、資本コストを意識した経営実現、収益構造の見直し、生産体制および設備の最適化、安定配当の継続、将来に向けての投資等を実行してまいりました。

当中間連結会計期間の売上高は、養魚用飼料の販売数量が減少したことなどにより223億69百万円（前年同期比9.4%減少）となりました。損益面におきましては、自社ブランド「霧島黒豚」の農場肥育成績の改善、ならびに効率的な養魚用飼料の原料調達および生産性向上による利益率の改善などにより、営業利益は7億87百万円（前年同期比298.2%増加）、経常利益は9億69百万円（前年同期比164.2%増加）、親会社株主に帰属する中間純利益は7億35百万円（前年同期比204.8%増加）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

①食品事業

機能性素材におきましては、原材料価格高騰に伴う価格改定により、増収となりました。

加工食品におきましては、収益性を重視した取引に努め、販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

肉類におきましては、牛肉の販売数量が増加したことなどにより、増収となりました。

これらにより、売上高は108億80百万円（前年同期比1.3%減少）となりました。損益面におきましては、「霧島黒豚」の農場肥育成績の改善などにより、セグメント利益（営業利益）は2億65百万円（前年同期は48百万円のセグメント損失）となりました。

②飼料事業

配合飼料におきましては、養魚用飼料の販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

水産物におきましては、取り扱い量が減少したことなどにより、減収となりました。

これらにより、売上高は114億86百万円（前年同期比15.8%減少）となりました。損益面におきましては、効率的な養魚用飼料の原料調達および生産性向上による利益率の改善により、セグメント利益（営業利益）は10億67百万円（前年同期比39.9%増加）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産合計は296億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億61百万円増加しました。流動資産の増加(前連結会計年度末比20億50百万円増加)は、主に現金及び預金が11億13百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が30億25百万円増加したことなどによるものであり、固定資産の増加(前連結会計年度末比10百万円増加)は、主に有形固定資産が1億67百万円減少したものの、投資有価証券が1億84百万円増加したことなどによるものです。

当中間連結会計期間末における負債合計は174億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億88百万円増加しました。流動負債の増加(前連結会計年度末比18億52百万円増加)は、主にその他に含まれる未払金が5億77百万円減少したものの、短期借入金が23億65百万円増加したことなどによるものであり、固定負債の減少(前連結会計年度末比2億64百万円減少)は、主に長期借入金が1億90百万円、その他に含まれるリース債務が90百万円減少したことなどによるものです。

当中間連結会計期間末における純資産合計は122億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億72百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益を7億35百万円計上したものの、配当金の支払いによる利益剰余金の減少が2億11百万円あったことなどによるものです。この結果、自己資本比率は41.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、財務活動によるキャッシュ・フローは増加したものの、営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フローの減少により、前連結会計年度末に比べ13億8百万円減少の18億38百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動による資金の減少は25億8百万円(前年同期は26億96百万円の減少)となりました。これは主に税金等調整前中間純利益10億55百万円の計上があったものの、売上債権の増加額が32億93百万円あったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少は1億70百万円(前年同期は24百万円の減少)となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入が1億44百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が2億円あったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動による資金の増加は13億69百万円(前年同期は16億3百万円の増加)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が3億69百万円、自己株式の取得による支出が2億14百万円、配当金の支払額が2億10百万円あったものの、短期借入金の純増加額が22億円あったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国際情勢を背景とした原材料価格やエネルギーコストの高騰、為替相場リスクや海外景気の下振れなど、当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続くと考えられます。

こうしたなか、当社グループの当中間連結会計期間の業績は概ね予想どおりに推移していることから、2025年5月15日に発表した通期の業績予想に修正はありません。

今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,156	2,042
受取手形及び売掛金	4,577	7,602
商品及び製品	1,983	2,074
仕掛品	2,234	2,274
原材料及び貯蔵品	2,163	2,815
その他	1,211	569
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	15,325	17,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,621	2,556
土地	1,798	1,800
その他(純額)	2,457	2,352
有形固定資産合計	6,877	6,710
無形固定資産	453	528
投資その他の資産		
投資有価証券	4,286	4,470
その他	1,606	1,516
貸倒引当金	△916	△908
投資その他の資産合計	4,976	5,078
固定資産合計	12,307	12,317
資産合計	27,632	29,694
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,527	2,941
短期借入金	4,906	7,271
未払法人税等	490	299
賞与引当金	170	254
その他	2,571	1,751
流動負債合計	10,665	12,518
固定負債		
長期借入金	1,820	1,629
退職給付に係る負債	1,878	1,893
その他	1,476	1,387
固定負債合計	5,175	4,910
負債合計	15,841	17,429

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,415	3,415
資本剰余金	2	3
利益剰余金	7,252	7,777
自己株式	△246	△449
株主資本合計	10,424	10,745
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,366	1,515
繰延ヘッジ損益	△2	0
退職給付に係る調整累計額	2	2
その他の包括利益累計額合計	1,367	1,518
純資産合計	11,791	12,264
負債純資産合計	27,632	29,694

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	24,677	22,369
売上原価	22,213	19,277
売上総利益	2,464	3,092
販売費及び一般管理費	2,266	2,304
営業利益	197	787
営業外収益		
受取配当金	70	71
その他	158	169
営業外収益合計	229	241
営業外費用		
支払利息	48	49
その他	11	9
営業外費用合計	59	59
経常利益	367	969
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	137	87
特別利益合計	137	87
特別損失		
固定資産除却損	1	2
特別損失合計	1	2
税金等調整前中間純利益	503	1,055
法人税、住民税及び事業税	223	255
法人税等調整額	38	64
法人税等合計	262	319
中間純利益	241	735
親会社株主に帰属する中間純利益	241	735

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	241	735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59	145
繰延ヘッジ損益	△10	2
退職給付に係る調整額	△0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	2	4
その他の包括利益合計	△67	151
中間包括利益	173	887
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	173	887

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	503	1,055
減価償却費	375	428
のれん償却額	—	12
持分法による投資損益(△は益)	△38	△35
固定資産売却損益(△は益)	—	△0
固定資産除却損	1	2
株式報酬費用	5	5
投資有価証券売却損益(△は益)	△137	△87
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	△7
賞与引当金の増減額(△は減少)	76	83
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5	15
受取利息及び受取配当金	△70	△73
支払利息	48	49
為替差損益(△は益)	0	△1
売上債権の増減額(△は増加)	△1,474	△3,293
棚卸資産の増減額(△は増加)	△471	△782
仕入債務の増減額(△は減少)	△603	644
未払金の増減額(△は減少)	△596	△533
未収消費税等の増減額(△は増加)	△73	423
未収入金の増減額(△は増加)	45	△6
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4	5
その他	△59	△1
小計	△2,488	△2,099
利息及び配当金の受取額	81	84
利息の支払額	△49	△53
法人税等の支払額	△238	△440
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,696	△2,508
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△185	△200
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△15	△102
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	168	144
その他	8	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24	△170

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,490	2,200
長期借入れによる収入	849	150
長期借入金の返済による支出	△361	△369
リース債務の返済による支出	△173	△184
配当金の支払額	△128	△210
自己株式の取得による支出	△71	△214
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,603	1,369
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,118	△1,308
現金及び現金同等物の期首残高	2,501	3,146
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,383	1,838

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食品事業	飼料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,018	13,637	24,656	21	24,677
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	825	825	—	825
計	11,018	14,463	25,482	21	25,503
セグメント利益又は損失(△)	△48	762	714	16	730

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	714
「その他」の区分の利益	16
セグメント間取引消去	17
全社費用(注)	△550
中間連結損益計算書の営業利益	197

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食品事業	飼料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,880	11,486	22,367	2	22,369
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	742	742	—	742
計	10,881	12,229	23,110	2	23,112
セグメント利益又は損失(△)	265	1,067	1,332	△1	1,330

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,332
「その他」の区分の損失(△)	△1
セグメント間取引消去	24
全社費用(注)	△567
中間連結損益計算書の営業利益	787

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。